

昭和医科大学  
SHOWA Medical University

—昭和医科大学歯科病院の理念—

患者本位の医療  
先進的医療の推進  
医療人の育成発行責任者 病院長 榎宏太郎  
編集責任者 広報委員長 長谷川 篤司  
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1  
TEL 03-3787-1151(代表)  
いちいちごいちホームページ: <https://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

## デフリンピック100周年

障がい者歯科 診療科長補佐・准教授 嘉手納 末季

今年の冬季オリンピックはミラノ・コルティナで開催されていますが、日本選手の活躍は非常に嬉しいものです。ところで、障害者のスポーツ大会はパラリンピックが有名ですが、デフリンピックという大会をご存知でしょうか。

デフリンピックは、世界で最も歴史のある障害者スポーツ大会の一つで、聴覚障害のあるアスリートを対象とし、1924年にパリで第1回大会が開催されました。2025年は100周年の記念大会であり東京で開催され、その意義が改めて注目されています。

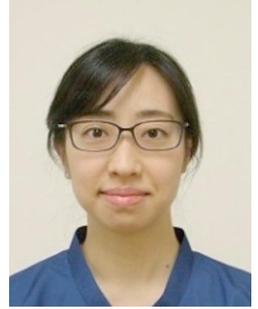
デフリンピックは、しばしばパラリンピックと混同されることがあり、パラリンピックが主に身体障害や視覚障害などを対象とし、競技によっては補装具の使用を前提としているのに対し、デフリンピックでは補聴器や人工内耳を外した状態で競技が行われ、視覚的な合図や手話によるコミュニケーションを重視する点が大きな特徴であり、聴覚障害特有の文化やアイデンティティを尊重した大会となっています。

この情報の伝え方への配慮という視点

は、私たちの歯科医療にも深く通じており、歯科診療の現場では、治療内容の説明や不安の共有が十分に行われないことで、患者さんに大きな負担を与えてしまうことがあります。そのため、視覚資料の活用、表情や動作を意識した対応など、一人ひとりに応じたコミュニケーションの工夫が不可欠です。

障害者歯科医療の目的は、特別な医療を提供することではなく、「誰もが安心して必要な歯科医療を受けられる環境を整えること」にあると考えております。デフリンピックが100年にわたり示してきた、障害を個性として尊重し、活躍できる場を築くという理念は、私たち医療従事者にとっても大切な指針です。

当科ではすべての患者さんの声に丁寧に向き合い、適した歯科医療を選択し提供したいと考えております。



P1 デフリンピック100周年

P2 診療科紹介：障がい者歯科

P3 部署紹介：看護部

P4 患者さんのご意見・ご要望、入院アンケート協力をお願い

記事見出しの色分けをいたしました。

患者さん向け、医療機関向け、お知らせなど

## 診療科紹介：障がい者歯科

障がい者歯科 診療科長補佐・准教授 嘉手納 末季

障がい者歯科は、歯科診療に対し特別な配慮が必要な方々の歯・口の総合的な診療科になります。知的障害、自閉スペクトラム症、脳性麻痺、ダウン症候群、四肢体幹障害、統合失調症、筋ジストロフィー、脳血管障害、認知症など、さまざまな障害や疾患のある方を対象に診療を行っています。障害のある方にとって、お口に関連したさまざまな問題は解決することが容易ではないことが多いかと存じますが、是非当科までご相談ください。

当科には赤ちゃんからご高齢の方まで幅広い年齢層の方が来院されています。車いすを使用されている方や、歩行が困難な方でも来院しやすい一階にあり、診療ユニットのうち1台は個室となっており、音に過敏のある場合にも配慮のできる体制を整えております。

主な診療内容は、お口のクリーニング、歯石除去、むし歯治療、被せ物や義歯の補綴治療、抜歯などの外科治療で、必要に応じて院内の各専門診療科と連携し対応しています。恐怖心や緊張が強い方には個人の特性に配慮し、さまざまな行動療法を用いています。

歯科麻酔科と連携して静脈内鎮静法にて歯

科治療を行うなど、患者さんの安全を第一に、歯科治療による不安やストレスを最小限にすることを常に心がけています。治療歯数が多い場合や親知らずの抜歯などでは、全身麻酔による集中治療を行っています。術前の検査は必要ですが、今まで歯科治療が困難だった方でも治療を受けることができます。また附属病院では昭和医科大学横浜市北部病院で、日帰り全身麻酔下での障がい者歯科診療を行っています。

予防プログラムとして、プロフェッショナルクリーニングと、患者さん自身の自立支援を含めたご本人への口腔清掃指導および予防処置を行い、口腔の健康維持管理に努めています。

当科では患者さんの特性を考慮し、お待ちいただくことのないよう予約制とさせていただいております。歯科診療を受けること自体が難しくお困りの方がいらっしゃいましたら、スタッフ一同、誠心誠意、対応させていただきますので、どうぞお気軽に訪ねていただければと存じます。



口腔清掃指導の際に使用している絵カード



障がい者歯科スタッフ

## 部署紹介：看護部

看護部 師長 中畠 理香

看護部は総勢26名の看護師で顎顔面口腔外科・口腔腫瘍外科外来、手術室、病棟の3か所に加え、1階に併設されている内科クリニックで勤務しています。

そして当院の理念である「患者本位の医療」「先進的医療の推進」「医療人の育成」を実現すべく、基本方針にある「患者さんの立場にたった医療の実践」「安全・安心かつ質の高い医療の提供」の実現に向け、チームの一員として医療現場に携わっています。

顎顔面口腔外科・口腔腫瘍外科外来では、主に入院前の患者さんへのオリエンテーションを行っています。ここでは入院から手術、退院までの一連の流れや必要な持ち物の説明、日頃から飲まれているお薬に関することなどを伺っています。手術への影響があるお薬はすぐに歯科医師、薬剤師に相談し、患者さんが安心・安全に手術を受けられるよう支援しています。



病棟では入院が必要な、全身麻酔や静脈内麻酔等で手術を受けられる全ての診療科の患者さんを受け入れています。そのため病棟内には、幼児から高齢者と幅広い年齢層の患者さんが、同時にご入院されています。

入院期間は平均2～3日程度ですが、できる

だけ患者さんの声を聞き、必要に応じて歯科医師や栄養士、歯科衛生士に相談し、患者さんの病状に合ったケアができるように心がけています。

また、診療科によっては、その日のうちに帰れる、日帰りでの入院も行っています。日帰り入院には午前入院と午後入院があり、患者さんのライフスタイルに合わせた選択も可能な状況となっています。



手術室では、麻酔のかかった患者さんの代弁者となれるよう常に患者さんの様子を観察しています。そして執刀医、麻酔医とともに安全に手術が終了するよう努めています。

看護部ではこれからも安全・安心を念頭に、患者さんやご家族の方々に信頼される真心のこもった看護が提供できるよう頑張っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。



## 患者さんのご意見・ご要望

事務課

ご意見・ご要望	回答・改善等
自転車置場を整理して欲しい。台数が少なくなつて、混雑して出し入れしづらい。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 自転車置き場は適宜、守衛室が整理を行っておりますが、スペースに限りがあるため混雑してしまう場合もあるかと存じます。引き続き自転車置き場の整理を行うよう、守衛室に周知させていただきました。 (管理係)
スタッフの皆様の声かけや気配りが良く、心配事が増えずに快適に過ごせました。必ず「何か聞きたいことありますか?」と聞いてもらえたのが良かったです。	この度は看護師の対応でお褒めのお言葉をいただきありがとうございます。お言葉を励みにスタッフ一同、これからも患者さんに寄り添った看護が提供できるよう努力して参ります。 (看護部)

## 入院アンケートご協力をお願い

患者サービス向上委員会

当院では、患者サービスの向上を図るため、入院患者さんの声をお聞かせいただきたく、下記の日程において「入院アンケート」を実施いたします。

お手数ですが、アンケートのご記入にご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。



**入院アンケート 期間：令和8年3月2日（月）～3月14日（土）**

## 編集後記

2月は一年の中でも寒さが厳しく、体調管理が難しい季節です。インフルエンザなどの感染症も流行しておりますので、手洗いやうがい、十分な休養を心がけてお過ごしください。日々の体調管理とともに、お口の健康についても気になることがありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。お口の健康から全身の健康を支えられるよう、当院も努めてまいります。 (Y.S)

